

英字新聞の読み方 基礎編その3

P a r t 1

前回は少し長めの文章を語群で区切る方法で分解して読んでみました。前回の予告で次に to の付くフレーズを取り上げるとしましたが、それは次回にゆずることにして、今回はもうひとつの区切りである句読点、カンマを取り上げます。文中にあるカンマで区切られている文章の読み方です。そのカンマの働きから見ていきましょう。文中カンマで区切られ、そこに挿入部があって読みづらい文章のことです。句読点の一つとして機能するカンマの役割はほかになりません。その働きがわかると文章の全体把握も楽になります。また、カンマ＋動詞の…ed やカンマ+who、カンマ+which など英文記事にはよく出てくる例ですから、それらも例文で見えていきましょう。

カンマは挿入説明のしるし

カンマは見出しの特徴でも取り上げましたが、**Japan, U.S. still apart on Futenma** のように、「日本と米国」と、and をあらわす意味で用いられています。文章でも代表例は、**The foreign ministers of Japan, South Korea and the United States on Monday issued a joint statement** のようにやはり、and を意味しています。カンマにはこのほかに重要な役割があります。それは「同格のカンマ」と呼ばれるものです。文中にカンマがあり、その後に「人名や年齢、肩書き、物などの説明」をしている場合です。たとえば、**Yoshihiko Noda, Finance Minister, ...**（野田佳彦、そして財務大臣である）や **Kansai University, headquartered in Suita, Osaka Prefecture,**（関西大学、それは大阪府吹田市に本校がある）などの形を取ります。

人の年齢や肩書きをあらわす記事は、社会面の事件のニュースに多く使われます。たとえば、**Tadashi Kuranoshita, 91, and his wife Hatsue, 87, were beaten to death with a metal shovel on the evening of June 18 or early on June 19 last year at their home in Kagoshima.** のようなケースです。